

住宅改修が必要な理由書

記入例

フリガナ	〇〇〇〇〇〇	保険者番号	1	3	2	2	8	2
被保険者氏名	〇〇〇〇〇	被保険者番号	0	0	0	0		
生年月日	明・大(昭) 年 月 日	個人番号						
住所	〒 - 電話番号 - -							
要介護度	要支援 1・2		要介護 ①・2・3・4・5					
認定有効期間	〇〇年〇〇月		理由書作成者と同じ場合は、 「理由書作成者と同じ」で可。その際、所属事業所欄、住所欄は無記入でかまいません。					
理由書作成者	〇〇〇〇〇							
所属事業所								
住所	〒 - 電話番号 042-558-〇〇〇〇 あきる野市〇〇〇〇番地							
現地確認日	年 月 日		理由書作成日	年 月 日				
介護支援専門員			所属事業所					
住所	〒 - 電話番号 - -							

総合的状況	福祉用具の現状の利用状況と改修後の想定		
利用者の身体状況 ・ 病名や症状等 ・ 現在の身体の様子を具体的に記入してください。 例：脳梗塞の経歴あるが、麻痺はない。 起き上がりは何かにつかまりながらできるが、右足に痛みがある。 歩行は、室内ではつたい歩きだが、屋外は杖を使用している。	種目	改修前	改修後
	車いす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	特殊寝台	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	床ずれ防止用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	体位変換機	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	手すり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	利用者の介護状況 ・ 家族の状況、普段の介助の様子を記入してください。 例：夫と二人暮らし。夫は健常であるが、高齢のため、妻を支えるだけの腕力がなく、長時間の介助は難しい。入浴は週2回のデイサービスの際に行なっている。 トイレの誘導、玄関の立ち座りを夫が介助している。	スロープ	<input type="checkbox"/>
歩行器		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
歩行補助つえ		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
認知症老人徘徊感知機器		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
移動用リフト		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
腰掛便座		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
住宅改修により、利用者は日常生活をどう変えたいか（全体像） ・ 全体的なイメージを記入してください。 例：以前、室内で転倒したことがあり、転倒の不安が大きく、夫に頼ることが増えている。手すり等を設置することにより、一人で移動することができ、夫の負担も軽減することができる。行動範囲も広がり、できることは自分でするように、意欲をもって生活できるようになる。	特殊尿器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	入浴補助用具	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	簡易浴槽	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	その他		
	()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

訪問調査日 (審査判定日)	年 月 日	評価欄
訪問調査員 (審査担当者)		

※総合的状況を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目⑤改修内容を具体的に記入してください。

	① 改善しようとしている生活動作	② ①の具体的な困難な状況 (・・・なので・・・で困っている)	③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、 改修の方針(・・・することで・・・が改善できる)	④ 改修項目	⑤ 改修内容	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ■ トイレまでの移動 ■ トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) ■ 便器からの立ち座り (移乗を含む) ■ 衣服の着脱 □ 排泄時の姿勢保持 □ 後始末 □ その他 	<p>廊下は壁をたよりにつたい歩きが可能だが、右足に痛みがあるため、つかまるところがないので移動が困難。 トイレのドアの開閉も、つかまるところがないため、不安定。 便座への立ち座りも、つかまるところがなく、困難であり、衣服の着脱も不安定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ できなかったことをできるようにする ■ 転倒等の防止、安全の確保 ■ 動作の容易性の確保 ■ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ■ 介護者の負担の軽減 □ その他 	<p>居室からトイレまでの動線に手すりを設置することで、安全に移動が可能となる。 ドアの開閉時に手すりを設置することで、転倒、ふらつきを防止できる。 トイレ内に手すりを設置することで、衣服の着脱や立ち座りの動作を容易にすることができる。 夫の一部介助が必要であったが、見守りであり、夫の負担を軽減することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手すりの取り付け □ 段差の解消 □ 引き戸等への扉の取替え □ 滑り防止等のための床材の変更 □ 便器の取替え □ その他 	<p>廊下の移動経路用</p> <p>トイレ出入口用</p> <p>トイレ内立ち座り用</p>
入浴	<ul style="list-style-type: none"> ■ 浴室までの移動 □ 衣服の着脱 ■ 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) ■ 浴室内での移動 (立ち座りを含む) □ 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) ■ 浴槽の出入 (立ち座りを含む) □ 浴槽内での姿勢保持 □ その他 	<p>居室から浴室の移動と出入口は「排泄」と同様。 出入口、浴室内につかまるところがないため、転倒の危険があり、自宅で入浴することができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ できなかったことをできるようにする ■ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他 	<p>居室から浴室の移動と出入口は「排泄」と同様。 浴室内に手すりを設置し、シャワーチェアも利用することで、転倒防止が図られ、自宅でも入浴することができるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手すりの取り付け □ 段差の解消 □ 引き戸等への扉の取替え □ 滑り防止等のための床材の変更 □ その他 	<p>廊下の移動経路用</p> <p>浴室出入口用</p> <p>浴室内の移動用</p> <p>浴槽の出入り用</p>
外出	<ul style="list-style-type: none"> □ 出入口までの屋内移動 ■ 上がりかまちの昇降 □ 車いす等、装具の着脱 □ 履物の着脱 □ 出入口の出入 (扉の開閉を含む) □ 出入口から敷地外までの屋外移動 □ その他 	<p>玄関の上がりかまちに30センチの段差があるため、夫の介助なしでは昇降できないので困っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ できなかったことをできるようにする ■ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ■ 介護者の負担の軽減 □ その他 	<p>上がりかまちに踏み台と手すりを設置することで、上がりかまちの昇降が安全かつ容易にできるようになる。 夫の介助負担を軽減することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手すりの取り付け ■ 段差の解消 □ 引き戸等への扉の取替え □ 滑り防止等のための床材の変更 □ その他 	<p>上がりかまち昇降用に手すり</p> <p>上がりかまちに踏み台</p>
その他の動作行為	<ul style="list-style-type: none"> □ □ □ □ □ □ □ 		<ul style="list-style-type: none"> □ できなかったことをできるようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他 	<ul style="list-style-type: none"> □ 手すりの取り付け □ 段差の解消 □ 引き戸等への扉の取替え □ 滑り防止等のための床材の変更 □ その他 		